



「防災ワークショップ」開催

2月4日、大雨防災をテーマにワークショップを開催しました。増田中学校の先生・生徒の皆様、名取市教育委員会、仙台管区气象台、日本気象予報士会、防災士会みやぎ、県総合教育センターの皆様など74名が参加しました。大雨時に命を守る方法について、増田中学校の生徒の皆さんと本校生徒が班ごとに意見をまとめ発表しました。参加いただきました皆様、ありがとうございました。名取北高校は今後も生徒や職員のみならず、保護者を含む地域の



皆様の命を守る防災に力を入れて参ります。



防災ワークショップの様子を見学する皆様

女子バスケットボール部 県新人大会3位！ 岩手・宮城対県選抜大会ベスト4



1月21～23日に開催された県新人バスケットボール大会でシ

ード校を倒し、見事3位入賞を果たしました。男女を通じて唯一の公立校入賞です。また、熊谷のぞみさん(写真右・2年・名取一中出身)、古山歩佳さん(写真左・1年・



丸森中出身)が県強化指定選手に選出されました。



出場権を得た岩手・宮城対県選抜バスケットボール大会は2月11、12日に一関市で開催され、ベスト4に入りました。来年度の高校総体での更なる活躍が期待されます。

6月の総体へ向けて

女子バスケットボール部 キャプテン 関 はづき(2年・郡山中出身)

県新人大会、岩手宮城選抜大会を経験し、個人としてもチームとしても収穫がありましたが、走り負けたことやリバウンドを取られすぎたこと、自分たちで試合の流れを掴みきれないことなど、課題の方が多く見つかる試合ばかりでした。県高総体まで約4か月程ありますが、それまでに自分たちのやるべきことを見直し、個人技のレベルアップとともに、課題としている走りやリバウンドを更に意識し、ベスト4ということを自覚して、緊張感を持って練習して行こうと思います。そして高総体では全員、悔いを残さないようにして行きたいです。

このようにたくさんの大会に出場できたのも、多くの方々の応援があったからです。常に感謝の気持ちを忘れず、これからも取り組んで行きたいです。



ワークショップに参加して
 伊藤美早紀(1年・名取一中出身)

仙台管区气象台と連携したこのワークショップに参加して、災害から身を守るために、普段からの「備え」が必要なことを学びました。気象予報士の方から、大雨による災害から身を守るための重要なこととお話しいただき、架空の町に住んでいる設定で、どのタイミングで、どのようなルートを選び、どのような手段で避難場所まで行けば良いかを、グループ毎に考え発表しました。地域の災害リスクを知り、避難情報や気象情報の活用方法を知ることによって、多くの人が災害から身を守ることができると思います。今回学んだことを、家族、友人を通じて多くの人に伝えて行きたいと思っています。



ギター部 特別養護老人ホームで演奏会を開催



1月19日、ギター部が特別養護老人ホームうらやす(名取市小塚原)を訪問し、慰問演奏を行いました。うらやすの皆様のかな歓迎を受け、楽しいひとときとなりました。

ギター部部長 吉田麻里愛(2年・郡山中出身)

昨年に続き、2度目の慰問演奏を行いました。私たちはこの日のために一生懸命練習した3曲を披露しました。うらやすの皆様は笑顔で手拍子をして聴いてくださり、一緒に楽しい時間を過ごすことができました。入居者のある男性からは「若さはいいね！ 私たちも毎日をしっかりと生きようと思った」との言葉を頂きました。私たちも、自分たちの音楽で心を動かせた嬉しさを感じ、自信を得ることができました。今回の慰問演奏を通じ、私たちが担うべき役割や、地域への貢献について学ぶことができました。これからも充実した活動をして参りたいと思います。うらやすの皆様、ありがとうございました。



1年進路ガイダンスを開催

1月24日、大学、短大、専門学校等の先生方においていただき、24講座から興味関心ある2つの分野の講義を選択し受講しました。「進学は目標ではなく将来への通過点」、「10年後の自分をイメージして何をしたいか考えることが大事」等の感想がありました。先生方、ありがとうございました。

「防災ワークショップ」開催に寄せて

～one for all all for one～

仙台管区気象台 気象防災部 統計係長

玉手雄一郎



はじめまして、仙台管区気象台の玉手と申します。気象台は的確な気象情報を提供することによって、自然災害の軽減、国民生活の向上、交通安全の確保、産業の発展など実現することを任務としています。

過去に名取市では平成6年9月22日から23日にかけての大雨のため、増田川をはじめとする周辺の河川で氾濫や堤防の決壊などにより水害が発生しています。また平成27年9月11日には東北地方で初めての特別警報が発表となったことは記憶に新しいことと思います。

このように災害はいつどこで起こるのかは予想できません。その時、みなさんが災害から身の安全を守るための行動をとることができるよう「大雨防災ワークショップ」を開催いたしました。この「大雨防災ワークショップ」を通じて、気象台や名取市から発表される様々な情報を正確に読み取り、災害から身を守るための行動を理解していただきたいと思います。また、ここで学んだことを家族や友人、知人など周囲の人々とよく話し合っ、互いが協力し得る関係を作っていただき、やがては地域全体が安全・安心できる町づくりに発展していけることを期待します。

名取北高校の皆さんはぜひ、交友関係、特に地域との結びつきを強めてください。人とのつながりは、この先どんな出会いに発展するかも知れません。そのためにも様々な交流を行い、地域に携わって、顔の見える関係を形成していただけたらと思います。今回の「防災ワークショップ」も地域交流のひとつと捉えていただき、「one for all all for one」（一人はみんなのため、みんなは一人のために）の考えで共に助け合うことの大切さを感じていただければと思います。

名取市長の「こんにちは しろすです！」で対談

エフエムなとり（なとらじ）で番組収録

2月13日、名取市長 山田司郎さんとの対談番組（3月放送分）の収録が行われました。

小野涼太さん（写真右・2年・増田中出身）、山瀬和音さん（写真真奥・2年・名取二中出身）、森 泰喜さん（写真左・2年・関上中出身）がゲスト出演し、未来、夢について語りました。放送は3/1水。



再放送は5日、15水、19日、29水。水曜は12:00～、日曜は17:30～。（30分番組）

山田市長さんとの対談を終えて 森 泰喜

市長さんとの対談と聞き、緊張して収録に臨みましたが、部活動などの学校生活の話やこれからの夢、名取の将来のことなどを話しているうちに、楽しくリラックスして未来を考える良い経験になりました。

子どもの頃の関上の思い出や、名物赤貝を再び名産にすることなど、これからの名取の姿について話すことができ、「市としても被災地の復興や地域の回復に力を尽くしていますが、何よりも君たち若い一人ひとりの力こそ大きい」との言葉に、私たち高校生への大きな期待を感じました。



みやぎ高校生フォーラムに参加

1月28日、県庁で行われた「みやぎ高校生フォーラム」で、名取北高校の地域貢献の取組を、ご来場いただいた方々に紹介しました。



今野 凌（1年・山下中出身）

今回のフォーラムを通し、多くの高校の地域貢献活動を知ることができました。どの高校も地域の特徴を活かし、今後どのように発展し、どのような姿を目指すか、志を持って取り組んでいることに感銘を受けました。私たち北高生も、名取市での地域貢献活動に主体的に取り組み、自分達の励みとして感じられるような活動を創って行きたいです。



小川博靖教諭 宮城県高等学校体育連盟功労賞を受賞

2月11日、小川博靖教諭（保健体育科）がバレーボール専門部での長年の功績により表彰を受けました。

「教師になって多くの学校でバレー部の顧問をさせていただき、多くの皆さんに支えられて来たことを改めて実感し感謝しております。



部活動の主人公は生徒の皆さんです。勉強と部活動の両立はたいへんなことあるでしょうが、やり切って得られる経験は一生の財産です。部活動を頑張る生徒諸君をこれからも応援して行きたいと思っております」（小川教諭談）

【宮城県名取北高等学校】

〒981-1224 宮城県名取市増田字柳田103

TEL 022-382-1261 FAX 022-384-8976

HP <http://natorikita.myswan.ne.jp>

mail chief@natorikita.myswan.ne.jp

（担当）教頭・町田尚彦

（学校だよりのご感想をお寄せください）



宮城県「命の大切さを学ぶ教室」作文コンクール優秀賞

8月、本校で開催した「命の大切さを学ぶ教室」（第7号で紹介）の感想を書いた「宮城県命の大切さを学ぶ教室作文コンクール高校生部」で、松本裕也さん（1年・逢隈中出身）が優秀賞を受賞し、2月15日、岩沼署で表彰されました。

岩沼警察署長さんより表彰を受ける